

2020年度 群馬パース大学 FD 活動報告書

2020年度は、国内の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、様々な制約を受けながら、可能な限りFD活動を継続するよう努めた。

以下のようなFD活動を推進したので、報告する。

I. 学生による授業アンケート

新型コロナウイルス感染症の拡大により前・後期にわたってオンライン授業や録画動画配信など授業形態が変更となったため、従来の質問項目を見直し、今年度の授業形態に即した質問項目を新たに作成した。アンケートへの回答については、一定期間を定めてWeb上で回答させる方式で実施した。回答率の低さが著しい場合は回答期間を延長する措置を取ったが、学科間でかなりのばらつきが出た。また、前期は学生に対して、事務局よりアンケート回答に関するガイダンスを対面にて実施していたが、後期は学科1年生のみに実施したことの影響か、回答率は前期が全体で78%だったのみに対し、後期は全体で42%ほどだった。

II. 学外実習評価アンケート

学外実習のアンケートは、各学科単位で行われた。今年度の学外実習は、実習施設の辞退など、新型コロナウイルスによる制約を大きく受けた。

III. ピアレビュー

新型コロナウイルス感染症拡大のため、授業日程及び授業形態が変更となったことで、教員の日程調整が難しくなると予想されたことから、前期においては実施を見合わせることにした。後期においては、前期に比べ日程調整の負担が軽減されたため教員の任意での実施とした。実施については昨年度同様、特に期間を設けずに、授業公開者と見学希望者の合意の上で報告制とした。最終的な実施率は全体の2%（2名/104名中）ほどだった。

IV. 学生FD推進

新型コロナウイルス感染症拡大のため、活動を休止することとし、感染終息後に再開する予定とした。

V・VI. FD研修会及び教育研修体系による研修

今年度はファーストレベル1年目研修とFD研修会を合わせて実施することとした。

「授業の作り方（教室内での技術に関して）」及び「学生との関係性の作り方（教室外でのコミュニケーションに関して）」をテーマに群馬県立女子大学文学部 教授 佐々木 尚毅 氏を講師として迎え、9月11日（金）に行われた。

授業における基本的な教育手法や学生・教員間のコミュニケーションについて深く学ぶことができたとの声が教員より多く寄せられた。

<研修会の様子>

